

米空軍グローバルホークの横田飛行場への一時展開について

このことについて、防衛省北関東防衛局より、グアム島のアンダーセン米空軍基地を拠点に運用しているグローバルホーク6機が、令和2年5月30日頃から同年10月頃まで、横田飛行場に一時展開される旨の情報提供がありましたので、お知らせします。詳細については、別紙1を御参照ください。

なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、下記のとおり文書要請を行っております。

記

- 1 要請日
令和2年5月25日（月）
- 2 要請先
在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
北関東防衛局長
横田防衛事務所長
- 3 要請内容
別紙2及び別紙3のとおり

令和2年5月25日
防衛省・外務省

米空軍グローバルホークの横田飛行場への一時展開について

一時展開の経緯

- グアムを拠点に運用されている米空軍グローバルホークは、2013年(平成25年)10月の日米「2+2」共同発表において、2014年(平成26年)年から日本においてローテーションによる展開を行う旨記述。その後の日米協議を踏まえ、夏季における台風等悪天候の影響を回避し、より安定的な運用を確保するため、2014年(平成26年)年から三沢飛行場へ一時展開を開始。
- 本年(2020年(令和2年))は、米軍の運用事情を踏まえ、2017年(平成29年)、2019年(令和元年)に続き、横田飛行場へ一時展開する。これについては、現下の安全保障環境を踏まえると、この地域におけるISR(情報収集、警戒監視、偵察)活動のニーズは引き続き高く、グローバル・ホークの効果的な運用を最大限確保する観点で検討した結果、本年は横田飛行場へ一時展開するもの。

グローバルホークの概要

- 情報収集、警戒監視、偵察を任務とする米空軍保有の高高度滞空型無人偵察機
その特徴は、以下のとおり
 - ・画像等の情報収集を実施
 - ・攻撃能力なし
 - ・高度5万フィート(約1万5千m)以上で航行
 - ・無線通信及び衛星通信により地上から操縦

RQ-4B(グローバルホーク)



全 幅	約40 ^{ft}
全 長	約15 ^{ft}
全 高	約5 ^{ft}
滞空時間	約36時間
最大高度	約65,000ft

横田飛行場における一時展開の概要

- 展 開 元 : アンダーセン空軍基地(グアム)
- 展開機数等: グローバルホーク×6機、人員数約80名
- 展開期間 : 2020年(令和2年)5月30日頃～同年10月頃までを予定。
- そ の 他 : 騒音規制措置は可能な限り遵守する。

展開実績 :	展開年・場所	展開期間
	平成26年(2014年)三沢	平成26年5月下旬 ~ 平成26年10月上旬
	平成27年(2015年)三沢	平成27年7月上旬 ~ 平成27年12月上旬
	平成29年(2017年)横田	平成29年5月上旬 ~ 平成29年10月下旬
	平成30年(2018年)三沢	平成30年6月上旬 ~ 平成30年10月上旬
	令和元年(2019年)横田	令和元年8月上旬 ~ 令和元年10月中旬

米空軍グローバルホークの横田飛行場への一時展開について（要請）

昨日、防衛省北関東防衛局より、令和2年5月30日頃から同年10月頃まで、グアム島のアンダーセン米空軍基地を拠点に運用している高高度滞空型無人偵察機グローバルホーク6機が横田飛行場に一時展開される、との情報が東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

本件は、現下の安全保障環境を踏まえると、この地域におけるISR（情報収集、警戒監視、偵察）活動のニーズは引き続き高く、グローバルホークの効果的な運用を最大限確保する観点で検討した結果、行われるとのことですが、昨年に引き続き横田飛行場において一時展開されるものであり、今後の運用が懸念されます。

については、貴職におかれましては、下記の項目について要請します。

記

- 1 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。
- 2 今回の一時展開に伴い周辺住民に影響を与える事項及び同機に関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。

令和2年5月26日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	福生市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之

米空軍グローバルホークの横田飛行場への一時展開について（要請）

昨日、防衛省北関東防衛局より、令和2年5月30日頃から同年10月頃まで、グアム島のアンダーセン米空軍基地を拠点に運用している高高度滞空型無人偵察機グローバルホーク6機が横田飛行場に一時展開される、との情報が東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

本件は、現下の安全保障環境を踏まえると、この地域におけるISR（情報収集、警戒監視、偵察）活動のニーズは引き続き高く、グローバルホークの効果的な運用を最大限確保する観点で検討した結果、行われるとのことですが、昨年に引き続き横田飛行場において一時展開されるものであり、今後の運用が懸念されます。

については、貴職におかれましては、このような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うよう要請します。

記

- 1 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。
- 2 今回の一時展開に伴い周辺住民に影響を与える事項及び同機に関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。

令和2年5月26日

}	北関東防衛局長	松田 尚久 殿
	横田防衛事務所長	和田 善徳 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	福生市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之